

麦類赤かび病に関する情報(第1報)

平成31年3月15日

香川県農業試験場病害虫防除所

麦類赤かび病は、その病原菌が毒素を生成することから、麦類の重要病害虫に位置付けられています。麦の開花期～乳熟期が赤かび病菌に感染しやすくなる時期で、これからの時期の天候が発生の多少に大きく影響します。すなわち、開花期頃の気温が高く、高湿度の日が連続すると多発生しやすくなります。

最も重要な防除時期は開花始めの頃とその7～10日後です。本年の麦類の生育は平年よりもかなり早くなっていますので、時期を逃さないよう適期に防除しましょう。なお、本情報の開花期予想は綾川町（本県内陸部）における予測であり、平野部～海岸部ではこれより早いので注意して下さい。

1. 麦類の生育状況

農業試験場におけるはだか麦‘イチバンボシ’の11月上旬播種の予想開花期は3月27日で、平年より7日程度早くなると予想されます。また、小麦‘さぬきの夢2009’の11月上旬播種の予想開花期は4月3日で、平年より10日程度早くなると予想されます（表1：農業試験場作物・特作部門調べ）。

表1 麦類の出穂及び開花の状況（農業試験場作況試験圃場：綾川町）

麦種	品種	播種期	出穂期		開花期 ^{注2)}	
			平年値	本年 ^{注1)}	平年値	本年 ^{注1)}
はだか麦	イチバンボシ	11月上旬	3月27日	3月20日(予)	4月3日	3月27日(予)
		11月中旬	3月30日	3月28日(予)	4月6日	4月4日(予)
		12月上旬	4月6日	4月3日(予)	4月13日	4月10日(予)
小麦	さぬきの夢2009	11月上旬	3月31日	3月22日(予)	4月13日	4月3日(予)
		11月中旬	4月6日	4月1日(予)	4月17日	4月11日(予)
		12月上旬	4月15日	4月10日(予)	4月24日	4月20日(予)

注1) (予)を付して赤字で示した日付は、綾川町における予想値である。(3月15日時点)

注2) 開花期は40～50%の穂が開花した時期を示す。

2. 気象経過と赤かび病発生条件の出現状況（別表参照）

- 1) 3月14日現在、高松市では子のう胞子飛散条件を満たす日は認められていません。
- 2) 気象庁発表の3月14日～4月21日の週間天気予報によると、最高気温、最低気温ともに期間の終わり頃は平年より高い予想で、降水量は平年並の見込みです。

3. 防除情報

- 1) 現在、赤かび病に適用のある薬剤は、発病前に散布しないと防除効果がないため、開花始期には必ず防除を実施しましょう。
- 2) 気象経過に注意しつつ、追加防除の時期を決めましょう。

表2 赤かび病の防除時期、防除薬剤等

	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め頃	トップジンM水和剤	1,000～1,500 倍	小麦 14／2 はだか麦 30／1
2回目	1回目の7～10日後	ワークアップフロアブル	2,000 倍	小麦 7／3 はだか麦 7／3

(資料:小麦、はだか麦の栽培しおり)